

2014年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2014年1月31日

上場会社名 サン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6736 URL <http://www.sun-denshi.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 正則
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 山本 泰 TEL (0587) 55-2201
 四半期報告書提出予定日 2014年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2014年3月期第3四半期の連結業績(2013年4月1日~2013年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2014年3月期第3四半期	18,183	29.0	1,961	47.1	2,088	50.9	1,278	40.8
2013年3月期第3四半期	14,090	20.5	1,333	221.0	1,384	244.1	907	503.4

(注)包括利益 2014年3月期第3四半期 1,784百万円(78.4%) 2013年3月期第3四半期 1,000百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2014年3月期第3四半期	58	88	52	71
2013年3月期第3四半期	43	81	31	80

(注)2014年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2014年3月期第3四半期	22,814	13,834	58.3
2013年3月期	20,213	11,937	57.9

(参考)自己資本 2014年3月期第3四半期 13,305百万円 2013年3月期 11,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2013年3月期	—	00	00	—	20	00
2014年3月期	—	00	00	—		
2014年3月期(予想)				10	00	10

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2014年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2014年3月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮しております。

3. 2014年3月期の連結業績予想(2013年4月1日~2014年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	20,000	(7.1)	2,000	(26.8)	2,000	(15.6)	1,400	(3.0)	64	67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2014年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 除外一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2014年3月期3Q	21,789,800株	2013年3月期	21,680,800株
② 期末自己株式数	2014年3月期3Q	868株	2013年3月期	30,868株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2014年3月期3Q	21,708,148株	2013年3月期3Q	20,720,440株

(注)2014年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
(セグメント情報等)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策等の効果に対する期待から、円安・株高が進行し、企業の業況感に改善が見られるなど、全体として景気回復の兆しが表れております。しかしながら、円安の進行に伴う輸入原材料価格やエネルギーコストの上昇、消費税増税に伴う景気減速の懸念等、国内景気の下振れ懸念が残り、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のなか当社グループにおきましては、社員主導型経営のもと、世界への更なる飛躍へ向け、グローバルな視点での事業展開を図るべく、新製品・新サービスの企画・研究・開発に努めました。売上高につきましては、各事業とも販売は引き続き順調に推移し、全体として前年同期を上回りました。利益につきましても、各事業の販売が順調に推移したことが利益の増加に貢献しました結果、全体として各利益とも前年同期を上回ることとなりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高181億83百万円(前年同期比29.0%増)、営業利益19億61百万円(前年同期比47.1%増)、経常利益20億88百万円(前年同期比50.9%増)、四半期純利益12億78百万円(前年同期比40.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<遊技台部品事業>

主要な製品は、遊技機メーカーに販売する制御基板及び樹脂成形品であります。

新機種に係る遊技台部品の販売が引き続き順調に推移しました。この結果、売上高は77億77百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益は13億7百万円(前年同期比41.6%増)となりました。

<ホールシステム事業>

主要な製品は、パチンコホール経営を支援する遊技台管理・会員管理・景品管理などのトータルコンピュータシステムであります。

ホールシステムにつきましては、パチンコホールにおける厳しい収益環境が継続したものの、需要期における受注獲得が順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。しかしながら、価格競争の更なる激化の影響から、営業利益は減少しました。この結果、売上高は31億15百万円(前年同期比25.0%増)、営業利益は1億8百万円(前年同期比33.8%減)となりました。

<モバイルデータソリューション事業>

主要な製品は、携帯電話キャリア及び犯罪捜査機関に販売するモバイルデータトランスファー機器であります。

Cellebrite社のモバイルデータトランスファー機器及び関連サービスの販売が引き続き順調に推移しました。携帯電話キャリア向けの機器及びサービスの販売につきましては、一部の国内大手キャリアでの導入等も貢献したことにより、全体として順調に推移しました。また、犯罪捜査機関向けの機器及びサービスの販売につきましては、米国を中心に販売が好調に推移しました。利益につきましては、同社の事業拡大に伴う販管費の増加がある一方で、のれん償却費が減少しました。これらに加え、為替の好影響も増収増益の要因となりました。この結果、売上高は62億27百万円(前年同期比60.5%増)、営業利益は12億31百万円(前年同期比83.9%増)となりました。

<その他>

主要な事業・サービスは、デジタル通信機器の販売及びコンテンツ配信サービスであります。

デジタル通信機器の販売におきまして、M2Mリナックスゲートウェイ「Rooster GX」及びモジュール内蔵ルータ「Rooster RX」の販売を開始するなど、従来の自販機及びセキュリティ市場に加え、エネルギー管理市場向け通信機器の販売が順調に推移し利益が確保できたものの、セグメント全体では、その他の事業に係る開発投資等の影響から営業損失となりました。この結果、売上高は10億62百万円(前年同期比2.2%減)、営業損失は71百万円(前年同期は59百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ26億円増加し228億14百万円となりました。これは主に、現金及び預金が11億49百万円、受取手形及び売掛金が10億98百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億3百万円増加し89億79百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億32百万円、前受収益が1億11百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ18億97百万円増加し138億34百万円となりました。これは主に、利益剰余金が11億33百万円、為替換算調整勘定が3億99百万円、少数株主持分が3億23百万円それぞれ増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は58.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2014年3月期通期の業績予想につきましては、2013年10月23日付け発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループの主要事業であるパチンコ関連事業は、需要変動が比較的大きな分野に属しており、それに伴い四半期毎の業績も大きく変動する傾向にあります。パチンコ制御基板については、新機種の販売は遊技機メーカーの動向、新機種の申請状況等により前後します。このため、当初計画に対して変動が生じることとなる場合には、当社グループの売上及び利益は大きく変動いたします。通期業績につきましては、上記要因を考慮の上、今後の状況を見極める必要があることから、現時点では修正を行いません。今後の市場動向・業績推移を踏まえ、修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,918,909	8,068,251
受取手形及び売掛金	3,770,382	4,868,857
電子記録債権	—	15,010
リース投資資産	1,128	41,111
有価証券	439,853	316,135
製品	777,621	709,756
仕掛品	1,618,264	1,426,521
原材料	917,116	1,217,115
繰延税金資産	336,318	264,975
その他	704,905	607,427
貸倒引当金	△9,623	△45,749
流動資産合計	15,474,878	17,489,413
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,295,554	1,295,554
その他(純額)	1,544,846	1,570,652
有形固定資産合計	2,840,400	2,866,206
無形固定資産		
のれん	82,017	59,603
その他	35,761	33,415
無形固定資産合計	117,779	93,019
投資その他の資産		
投資有価証券	1,148,766	1,719,309
繰延税金資産	491,571	446,621
その他	149,201	205,415
貸倒引当金	△8,800	△5,500
投資その他の資産合計	1,780,739	2,365,846
固定資産合計	4,738,919	5,325,072
資産合計	20,213,798	22,814,485

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,949,027	2,481,105
短期借入金	830,000	830,000
1年内返済予定の長期借入金	47,796	47,796
リース債務	4,960	10,812
未払法人税等	157,924	192,729
前受金	1,031,803	854,507
前受収益	2,166,430	2,277,702
賞与引当金	429,850	378,150
役員賞与引当金	32,084	43,502
製品保証引当金	144,155	166,761
その他	955,601	1,177,160
流動負債合計	7,749,634	8,460,228
固定負債		
長期借入金	151,926	116,079
リース債務	4,281	35,410
長期未払金	18,253	13,253
繰延税金負債	252,090	253,421
再評価に係る繰延税金負債	11,508	11,508
退職給付引当金	58,482	64,319
役員退職慰労引当金	26,490	22,084
資産除去債務	3,220	3,220
固定負債合計	526,253	519,297
負債合計	8,275,888	8,979,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	891,385	906,018
資本剰余金	1,085,685	1,102,199
利益剰余金	10,128,485	11,262,455
自己株式	△6,281	△176
株主資本合計	12,099,274	13,270,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,263	89,108
土地再評価差額金	△435,791	△435,791
為替換算調整勘定	△18,416	381,294
その他の包括利益累計額合計	△392,945	34,610
新株予約権	204,679	179,108
少数株主持分	26,901	350,744
純資産合計	11,937,910	13,834,960
負債純資産合計	20,213,798	22,814,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年12月31日)
売上高	14,090,725	18,183,457
売上原価	8,075,980	9,823,453
売上総利益	6,014,745	8,360,003
販売費及び一般管理費	4,681,649	6,398,930
営業利益	1,333,095	1,961,073
営業外収益		
受取利息	34,727	26,417
受取配当金	13,115	18,078
為替差益	2,305	116,661
その他	15,087	14,223
営業外収益合計	65,235	175,381
営業外費用		
支払利息	8,251	8,179
デリバティブ評価損	5,975	—
持分法による投資損失	—	40,032
営業外費用合計	14,226	48,212
経常利益	1,384,105	2,088,242
特別利益		
投資有価証券売却益	2,871	29,185
子会社株式売却益	—	5,082
新株予約権戻入益	7,194	—
特別利益合計	10,065	34,268
特別損失		
固定資産除却損	444	2,602
固定資産売却損	—	2,052
投資有価証券評価損	50,400	—
投資有価証券売却損	1,319	488
持分変動損失	35,374	262,468
特別損失合計	87,537	267,611
税金等調整前四半期純利益	1,306,632	1,854,898
法人税、住民税及び事業税	230,983	428,575
法人税等調整額	172,509	98,985
法人税等合計	403,492	527,560
少数株主損益調整前四半期純利益	903,139	1,327,337
少数株主利益	△4,574	49,192
四半期純利益	907,714	1,278,145

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	903,139	1,327,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,481	28,738
為替換算調整勘定	3,062	428,653
その他の包括利益合計	97,543	457,391
四半期包括利益	1,000,683	1,784,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,005,257	1,725,334
少数株主に係る四半期包括利益	△4,574	59,394

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	遊技台部品 事業	ホールシ テム事業	モバイルデ ータソリュー ション事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	6,632,781	2,491,917	3,879,545	1,086,482	14,090,725	—	14,090,725
セグメント間の内部売上 高又は振替高	184,281	900	—	13,100	198,282	△198,282	—
計	6,817,063	2,492,817	3,879,545	1,099,582	14,289,008	△198,282	14,090,725
セグメント利益	923,583	163,810	669,801	59,369	1,816,563	△483,467	1,333,095

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタル通信機器の販売及びコンテンツ配信サービスを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△483,467千円には、セグメント間取引消去380千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△483,848千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	遊技台部品 事業	ホールシ テム事業	モバイルデ ータソリュー ション事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	7,777,620	3,115,867	6,227,207	1,062,761	18,183,457	—	18,183,457
セグメント間の内部売上 高又は振替高	162,966	—	—	—	162,966	△162,966	—
計	7,940,586	3,115,867	6,227,207	1,062,761	18,346,423	△162,966	18,183,457
セグメント利益又は損失(△)	1,307,671	108,486	1,231,438	△71,664	2,575,932	△614,859	1,961,073

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタル通信機器の販売及びコンテンツ配信サービスを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△614,859千円には、セグメント間取引消去1,628千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△616,487千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。